



年頭の挨拶



院長 柳瀬 治



明けましておめでとうございます。

職員皆さんのたゆみない尽力のおかげで、当センターはこれまでも増して暖かく穏やかな正月を迎えることができました。年末年始に勤務した皆職員、仕事初めの準備を担当した職員、そして自宅待機して過ごした職員に深く感謝いたします。

小池知事の年頭挨拶を伺ってまいりました。まず地道に都民のために働く都職員に対する信頼を表明された上で、24時間365日休むことなく、福祉・医療、消防、警察、交通、上下水道などの現場で年末年始に従事された職員をねぎらわれました。知事は一貫して「都民ファースト」を旗印にされ、毎日の暮らしを支える安心・安全の確保、女性が益々活躍し、高齢者や障がいのある方々がいきいきと暮らせる社会の実現、国際金融・経済都市や環境先進都市への挑戦、それらに向けて2020オリンピック・パラリンピックを梃子に政策を進めていきたいと述べられました。政策を進めるに当たっては一つの部署だけで成し遂げることは難しく、幅広い連携が欠かせないと述べています。このことは、「質の高い療育・医療サービスを提供し、重症心身障害児者の生活が豊かなものになるよう支援します」という理念のもと、職員一人ひとりの研鑽と多職種連携を基盤に療育・医療を実践する当センターにも相通じます。

さて、当センターでは昨年9月に新センターの実施設計が完成し、この3月には平成31年の竣工を目指して着工する予定です。利用者の方々、ご家族、そして職員にとりましても希望に満ちた新センターになるよう、福祉保健局ならびに関係諸機関とも連携しながら、引き続き力を合わせて質の高い信頼される医療・療育を目指していきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



くぬぎ分教室音楽鑑賞会

くぬぎ分教室 大平 朋未

1月17日（火）に訓練室でミュージックボックスを迎えて、くぬぎ分教室音楽鑑賞会を行いました。くぬぎ分教室の児童・生徒だけでなく、たくさんの方々が集まり、素敵な午後の一時を過ごすことができました。ミュージックボックスさんの明るくて楽しい雰囲気会場に広がって、1曲目の「と・も・だ・ち」から盛り上がりました。次に、分教室からリクエストした曲が続き、嬉しさから笑顔が見られる生徒も……。また、いつも授業の始まりで歌っている「あつまろうのうた」が演奏されると心に響く歌や演奏に聴き入っている様子でした。卒業生の中には、懐かしさのあまり感激した方々もいました。くぬぎ分教室の小学部の二人は、しっとりした曲調も大好きで、その後の「愛の挨拶」「手をつないで」「メッセージ」により表情で聴き入っていました。高等部の生徒は、授業で歌ったことがある「風になりたい」や「世界に一つだけの花」でのミュージックボックスさんの楽しいトークが気に入って表情をゆるめていました。あっという間の1時間。3学期最初の楽しい行事となりました。



5-B コンサート

5 - B病棟 保育士



カンティアーモの方々による歌とピアノ、アルトサックス、ライアー（竖琴）の演奏がありました。素敵なドレスで登場され、華やかな雰囲気につつまれました。皆の好きな曲、季節にちなんだ曲をたくさん演奏していただき、大満足でした。鈴やタンバリンなどの楽器を曲に合わせて鳴らし、たくさん笑顔がみられていました。また、カンティアーモの皆さんが持参されたウインドチャイムという楽器をひとりひとりの手に触れて音を鳴らしました。曲に合わせて手で音を奏でて楽しむ体験もできました。

2-B 新年会

保育士 我妻 文子

1月17日（火）、今年の2-Bの新年会はすごろく大会をしました。ホワイトボードに張り出した東北新幹線の駅名すごろくです。名物や名所の写真などがそれぞれ貼ってあります。2チームに別れてどちらが先に青森にゴールするか競争です。全員で順番にさいころを振ります。ひざの上に置かれたさいころを上手に転がす人、職員と一緒に持って転がす人。大きな数が出ると大喜びです。すごろくで盛り上がった後は、おいしいおやつを食べて楽しいひと時を過ごしました。



お正月の料理とおやつ

栄養科 調理師 土屋 明治

新年あけましておめでとうございます。今年は、どのようにお正月を迎えられたでしょうか。また、どのような正月料理を召し上がったでしょうか。写真は、当センターで提供した正月料理とおやつです。食べやすさを優先した食事を提供しているため、一般的なおせち料理とは少し異なりますが、できるだけ正月の気分を味わってもらえるよう食材や調理に工夫をしました。特におやつは、毎年好評です。今年は、いちごのパバロアをホイップクリームで可愛らしくかざりました。



1月1日(日曜日)の昼食
一口大食 Ⅲ量

- ・軟飯
- ・ぶりの照り焼き 煮おろし添え
- ・吹き寄せ
- ・菊花あえ
- ・果物(バナナ)



1月1日(日曜日)のおやつ
・いちごのパバロア



1月3日(火曜日)の昼食
一口大食 Ⅲ量

- ・軟飯
- ・鮭の粕漬け
- ・盛り合わせ(栗さんとん、寿かまぼこ、小松菜と人参の浸し)
- ・果物(桃のパースト)

第12回東京都福祉保健医療学会

栄養科 調理師 宮木 絹子

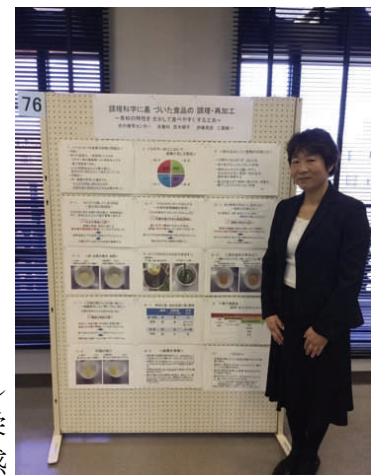
「第12回東京都福祉保健医療学会」(2016年12月15日)で、府中療育センターから栄養士の春日は「災害時等の緊急時における栄養科の食事提供に関する検討」、私は「調理科学に基づいた食品の調理・再加工～素材の特性を生かして食べやすくする工夫～」をテーマとして、医学・医療分野のポスター部門に発表しました。

私の内容は、ミキサー等の機器類を使用して食材を加工した結果、“飲み込みにくいとされている料理”にならないようにするために、食材が持つ性質と、攪拌という力が作用する効果についての報告でした。

療育センターでは、提供している「やわらか食」や「ペースト食」などの調理・再加工方法を、長年に渡り多くの調理師が、試行錯誤しながら工夫も行ってきました。食べやすい状態に上げるためには“機器類を操作する時間や速度は、食材に応じて調整する必要がある”ということを知り、把握できるようになってきました。発表した内容はごく一部ですが、食材の持つ性質を生かすことは、栄養や旨味を逃さず、食べやすくして美味しい食事の提供に繋がります。

学会での発表は今回が初めてですが、最優秀賞を受賞することができました。

これを励みとして、需要が高まっている嚥下調整食の発展に貢献していけるよう、今後も努力していきたいと思っています。最後に、栄養科内で一緒に業務に携わっている皆さんに、この場をお借りして感謝します。



平成28年度テーマ別改善運動

事務室 赤間 紀子

テーマ別改善運動は、職場の活性化や職員同士の意識向上を図り、患者・利用者が、安全で安心な医療やサービスが受けられる環境づくりを推進することを目的として、患者・利用者の視点に立ち、職場の身近で具体的な問題の解決に取り組む自主的活動です。

当センターでは、今年度も13サークルがサービス向上・業務改善等のさまざまなテーマに取り組み、昨年の10月31日（月）に開催された院内発表会で、取り組み成果を報告しました。

院内発表会で最優秀賞を受賞した「オムツ減らし隊」は、自らの意思を伝えることが困難な利用者の、不快除去や清潔保持への配慮が必要であることから排泄に着目し、身体の変形や脱臼・拘縮など個々の体形に合ったオムツの選択や当て方を探求することで、心地よい排泄、更にコスト削減に繋がる取り組みを行いました。

1月25日（水）都庁大会議場で、今年度の活動を締めくく「テーマ別改善運動発表会」が開催され、都立・公社病院、都立重症心身障害児・者施設等で活動した代表18サークルが、多種多様な改善提案を発表しました。当センター代表「オムツ減らし隊」の発表は、入賞こそ逃しましたが、審査員からは「利用者の高齢化等の変化に応じた対応および医療施設の大事な課題に真摯に取り組んでいる。」等の評価を受けました。また、今後のセンター全病棟への浸透、取り組みの継続および技術の継承に期待をされました。

テーマ別改善運動に取り組んだ各サークルの皆様、大変お疲れさまでした。来年度も引き続き、積極的な取り組みが期待されます。



院内発表各賞受賞サークル一覧

	所属	サークル名	テーマ名
最優秀賞	4-1	オムツ減らし隊	巻かなくても大丈夫！オムツ当て方名人
優秀賞	5-A	クリーン整頓5Aジャー	5S導入して、処置室での業務を効率化！
敢闘賞	3-1	片づけ☆騎士(ナイト)	きれい・スッキリ・これ決まり！ K S K !
	3-2	チェッカーズ	短期利用者入退所チェックリストの見直し
	4-2	みんなを守り隊	グラットきたそのときに

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>